さあ、街から未来をかえよう
三井不動産
MITSUI FUDOSAN

NEWS LETTER

2026 年 11 月 11 日

報道関係者各位

三井不動産株式会社

135 チームが参加した企業対抗ピックルボール大会の頂点が決定！

「企業対抗ピックルボール&BIZ CUP FINAL 2026」開催

激戦を制し、「PwC コンサルティング合同会社」が優勝

本レターのポイント

- 計 135 チームが参加した、企業対抗ピックルボール大会の 2026 年度決勝大会「企業対抗ピックルボール&BIZCUP FINAL 2026」を、11 月 7 日(土)に日本橋三井ホールで開催。
- 1 年間にわたって計 135 チームが参加した予選大会を実施。勝ち抜いた代表 18 チームによる熱い戦いが行われ、「PwC コンサルティング合同会社」が優勝。
- 当日は選手と観客合わせて約 500 名が参加。予選からの延べ参加者は約 3,000 名に。
- 2027 年度大会からは当社オフィスの入居企業以外にも参加対象を広げ、企業日本一を決める大会へ。

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:植田 俊、以下「三井不動産」)は、「企業対抗ピックルボール&BIZ CUP FINAL 2026」を 11 月 7 日(土)に日本橋三井ホールにて開催いたしました。

2025 年に始まった「企業対抗ピックルボール＆BIZ CUP」には、2026 年度、135 チームが参加。1 年間にわたり都内 7 エリアでの予選やチャレンジャー決定戦が開催され、代表 18 チームが決勝大会に進出しました。

決勝大会当日は、18 チームが 3 チームずつの 6 つのグループに別れ、総当たり戦を実施。その結果をもとに選出された 8 チームが決勝トーナメントに進出し、白熱した試合を繰り広げました。会場には多くの観客が訪れ、選手と観客を合わせた参加者は計約 500 名に上り、企業を代表して戦う選手たちに熱い声援が送られました。決勝戦では、「PwC コンサルティング合同会社」と「株式会社 FLUX」が対戦し、熱戦の末、「PwC コンサルティング合同会社」が優勝を果たしました。優勝チームには、三井不動産より優勝トロフィーとメダルに加えて、副賞としてハレクラニ沖縄の宿泊券等が送られました。また本大会にご協賛いただいた東レ株式会社より東レ賞として「東レ 100 周年記念カタログギフト」も送られました。

本大会は、スポーツを通じて企業や部署の垣根を越えた交流を生み出すことを目的に開催しているものです。初心者から経験者まで幅広いビジネスパーソンが参加しやすいピックルボールを通じて、選手同士の交流に加え、社員による応援など、オフィスワーカーの新たなつながりを生み出す機会を提供しています。

「企業対抗ピックルボール&BIZ CUP」は 2027 年度も開催を予定しております。2027 年度からは参加対象を三井不動産のオフィス入居企業以外にも拡大し、ピックルボール企業日本一を決める大会を目指してまいります。





2026 年度「企業対抗ピックルボール&BIZ CUP FINAL2026」の様子

■「企業対抗ピックルボール＆BIZ CUP FINAL 2026」について

大会名： 企業対抗ピックルボール&BIZ CUP FINAL 2026 ―東レ 100 周年記念―
開催日： 2026 年 11 月 7 日（土）
会場： 日本橋三井ホール（東京都中央区日本橋室町 2-2-1 COREDO 室町 1 5F）
主催： 三井不動産株式会社
協賛： 東レ株式会社、大王製紙株式会社、サントリーコーポレートビジネス株式会社、コカ･コーラボトラーズジャパン株式会社
後援： 一般財団法人ピックルボール日本連盟
参加チーム数：18 チーム（2026 年度大会全体では 135 チームが参加）
大会結果：

･優勝：PwC コンサルティング合同会社



【優勝チームコメント】
「応援団や観客の皆様の温かい声援のおかげで優勝することができ、大変嬉しく思います。大会を主催いただいた三井不動産様、協賛企業の皆様、そして参加企業の皆様に感謝申し上げます。今後も皆様とともに日本のピックルボールを盛り上げていきたいと思います。来年も出場し、2 連覇を目指します。」

･準優勝：株式会社 FLUX



【準優勝チームコメント】
「素晴らしい大会を企画･運営いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。今回の経験を糧に、これからも練習を重ね、来年こそは優勝できるよう頑張りたいと思います。」

決勝大会進出企業：

日本橋エリア代表	NEC ネッツエスアイ／三井不動産／ほか 1 社
日比谷エリア代表	PwC コンサルティング／EY 新日本有限責任監査法人
豊洲エリア代表	NTT データ／住友ゴム工業
六本木エリア代表	ファーストリテイリング／FLUX／ブリティッシュ･アメリカン･タバコ･ジャパン
赤坂エリア代表	タイミー／博報堂
大崎エリア代表	ギフティ／富士電機
八重洲エリア代表	ダイキン工業／UBS 証券
特別枠	東レ（オフィシャルパートナー枠）／Sansan（チャレンジャー枠）

■ 2027 年度大会から参加対象を拡大し、日本最大の企業対抗ピックルボール大会を目指す

2026 年度は、当社オフィスビル入居企業を中心に都内 7 エリアで予選を開催し、計 135 チームが参加しました。2027 年度は従来のエリア予選に加え、入居企業以外にも参加機会を開く新たな予選を設け、より幅広い業種･企業に参加の門戸が広がります。

決勝大会は 2027 年度も日本橋で開催します。より多くの企業がこの舞台を目指して競い合う大会へと発展させていきます。

※2027 年度大会の詳細についてはこちらをご覧ください：グループ(イベント)｜&BIZ

■ なぜ三井不動産はピックルボールに取り組むのか

ピックルボールは、初心者でもラリーを楽しみやすく、幅広い年代の社員が一緒にプレーできるスポーツです。仕事帰りの短時間に少人数で楽しめる一方、企業対抗戦では大勢の社員が参加・応援できることも魅力です。三井不動産の「&BIZ」は、オフィス入居企業やビジネスパーソンに向け、サービスや交流機会を提供する取り組みです。その一環として、オフィス街にもコートを設けやすいピックルボールを活用。飲食を伴う懇親会など従来の企業交流に加え、体を動かしながら部署や企業の垣根を越えてつながる新たな機会を提供しています。





企業を代表する選手への声援（左）／予選大会に参加した企業チーム（右）

■体験イベントから常設拠点へ広がる「PICKLEBALL PARK」

「PICKLEBALL PARK」は、2024 年に始まった TBS と三井不動産の共同プロジェクトです。体験イベントや大会を通じてピックルボールを楽しむ機会を創出してきた本プロジェクトでは、より日常的にピックルボールを楽しめる環境づくりを目指し、常設コートの展開にも取り組んでいます。2026 年には豊洲に屋外 4 面の常設コート「PICKLEBALL PARK TOYOSU」が誕生し、三重県伊勢志摩市のリゾート施設 NEMU RESORT でも「PICKLEBALL PARK NEMU RESORT」を展開。都市の日常からリゾートまで、気軽にプレーを楽しめる場を広げています。

PICKLEBALL PARK | ピックルボールパーク

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「＆マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ＆インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

・「グループ長期経営方針」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/

・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/